

# 金融リテラシーと株式保有：「くらしの好みと満足度アンケート」

## 2009 年度アメリカ調査を用いた分析

関田静香<sup>†</sup>

大阪大学 社会経済研究所 特任研究員

2010 年 4 月

### 要旨

本稿では、大阪大学グローバル COE プロジェクトによって実施された「くらしの好みと満足度アンケート」2009 年度アメリカ調査の個票データを用いて、金融リテラシーが株式保有に与える影響について実証分析した。また、金融リテラシーの内生性を考慮して、回答者が 18 歳時、金融教育が必修であったかどうか、を操作変数として利用した。その結果、1) 金融リテラシーが高い人は、そうでない人に比べて、より株式を保有する傾向がある、2) 金融教育を必修で受けたことのある人ほど、金融リテラシーが高く、その効果は年齢が高いほど大きい、ということが分かった。

キーワード: 金融リテラシー、金融教育、株式、危険資産、内生性、操作変数、必修教育

---

<sup>†</sup> 連絡先: 〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 6-1、大阪大学社会経済研究所、電話番号: (81) 6-6879-8550、メールアドレス: [sekita@iser.osaka-u.ac.jp](mailto:sekita@iser.osaka-u.ac.jp)